2025年度日系社会研修　コース概要

NO.	14
所管センター	北海道(札幌)
分野	医療・介護・高齢化対策
研修コース名（日）	作業療法学
受入人数	1
受入時期	上半期
来日日	2025年5月11日（日）
帰国日	2026年1月16日（金）
提案団体（日）	札幌医科大学
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/ot/
研修員必要資格	現地の作業療法士資格または理学療法士資格を有している者 （学士もしくは同等程度の学力）
研修員に必要な 実務経験年数	実務経験3年以上
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N2
英語能力（選択）	英語でのコミュニケーション可
研修目標	基礎的作業療法を理解し、日本における作業療法の役割や機能を説明できること。
期待される成果 （習得する技術）	１．成人中枢神経障害，整形疾患、小児発達障害の作業療法 ２．精神障害（認知症を含む）の作業療法 ３．地域における高齢者に対する作業療法サービス（介護予防を含む） ４．作業療法研究法
研修計画 （内容）	１.学部・大学院授業の聴講 ２.臨床作業療法の見学 ３.作業法関連学会、技術講習会への参加 ４.作業療法関連実験への参加 ５.日本人学生・大学院生との交流会 ６.現地の関連施設の見学
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	本コースは、講義・演習などにより研修員の作業療法に関する知識と技能向上を目指して実施する。作業療法教育・研究・臨床の育成専門家が多数在籍するため研修員はゼミに参加し、他学部生や大学院生とも意見交換を行いながら、理論的に作業療法学の知識と技術について学ぶ。合わせて、附属病院や協力病院・施設、及び我が国の先進的取り組みを行っている医療機関の見学などを通じて知見を得る機会を提供することにより、現地日系社会での高度リハビリテーションの拡大と作業療法士養成に貢献できる人材を育成する。研修員により、現地で高度な臨床や教育が実践されれば、患者の生活の質の向上だけでなく、現地日系コミュニティのリハビリテーションの発展に大きく寄与することができるとともに、出身国の作業療法士養成に指導的な役割を担える知識と技術が研修できる。

応募希望者への特記事項	研修では医療機関での見学を含むため、来日する際にはＢ型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘のワクチン 2 回接種、COVID-19ワクチン3回接種を終えている必要がある。 履歴書等応募書類の送付時に感染症調査表(*1)及び2回接種を証明できるものとして、原則、各ワクチンの接種時の証明書及び各ワクチン接種に係る証明書(*2)（各ワクチン接種病院に作成依頼）を提出する必要がある。 ※接種時の証明書がない場合には、最低限、各ワクチン接種に係る証明書(*2)の提出を要する。 下記の書類はJICA事務所から様式を受け取る必要があります。 *1：感染症調査表 *2：ワクチン接種に係る証明書